

平成 29 年度第 2 回阿賀野市地域公共交通会議 議事要旨

日 時 平成 29 年 8 月 28 日（月）午後 1 時 30 分～午後 2 時 00 分

場 所 阿賀野市役所 403 会議室

出席者 委員名簿のとおり

議 事

（1）阿賀野市営バスの平成 29 年 10 月 1 日ダイヤ改正について

○ 以下のとおり意見・質問等があったが、原案のとおり承認された。

（委員からの意見）

阿賀野市は多くの路線がある中で、利用者数向上のため、非常に細かく調整を行われたと思う。色々な地域において、民間路線バスが撤退した後に自家用有償旅客運送の市営バスを運行し、地域住民の足の確保に努めているが、乗車人員が上がってこない状況にある。しかしながら、今回の変更は（利用者から）歓迎されると思う。ダイヤ改正によって利用者数がどのくらい増えたかを今後お示しいただきたい。（竹村委員）

阿賀野市地域公共交通網形成計画の中で、目標値を定めて進捗管理をしていくことにしているので、ダイヤ改正後の人数についてもしっかりと進捗管理を行い、データをお示ししていく。（小林主任）

時刻表の時刻は 1 分単位で刻まれているが、これまでの統計や調査の結果に基づくものなのか。（石山委員）

実際の運行時間に基づくものであり、実際の運行時間と異なっているものは今回のダイヤ改正で調整を行った。（小林主任）

一部の停留所を降車のみ可能とすることで、速達性・定時性を確保とは具体的にどういう意味か。（田中会長）

これまでは、分田県道を通してルブラン中村前に行き、そこから駅前通りを通して、あがの市民病院に行くルートであった。今回、降車のみにするこ
とで、ルブラン中村前での降車者がいなければ、分田県道から直接あがの市

民病院に行くルートが可能となるため、速達性・定時性が確保されるという
意味である。利用実績がほとんどない停留所なので、降車のみにしても影響
はないものと考えている。 (小林主任)

そのような状況であれば、むしろ停留所を集約していった方が良いのでは
ないか。停留所が多ければサービスが良いわけではないと思う。(田中会長)

この件に関しては、再度事務局で検討させていただく。 (小林主任)

(2) 自家用有償旅客運送の登録更新について

- 意見・質問等はなく、原案のとおり承認された。